

公立大学法人和歌山県立医科大学 看護師特定行為研修
地域医療コース第 11 期生 二次募集案内

令和 8 年度 4 月に開講する、特定行為研修の第 11 期生の募集を下記の通り開始します。詳細については、必ず募集要項を確認してください。

開催予定の 研修内容	【パッケージ研修】 領域別に必要な特定行為を組み合わせた研修です 在宅・慢性期領域パッケージ ＜パッケージに含まれる特定行為＞ <table><tr><td>気管カニューレの交換</td></tr><tr><td>胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換</td></tr><tr><td>褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去</td></tr><tr><td>脱水症状に対する輸液による補正</td></tr></table> 【特定行為区分（選択）】 上段に区分名、下段に行為名を記載しています 区分には1つまたは複数の特定行為が含まれます。 <u>本学では、区分を複数組み合わせて受講いただけます。</u> <table><tr><td>呼吸器(気道確保に係るもの)関連</td></tr><tr><td>経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調節</td></tr><tr><td>呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連</td></tr><tr><td>気管カニューレの交換</td></tr><tr><td>栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理) 関連</td></tr><tr><td>中心静脈カテーテルの抜去</td></tr><tr><td>栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理) 関連</td></tr><tr><td>末梢留置型中心静脈注射用カテーテル(PICC)の挿入</td></tr><tr><td>創傷管理関連</td></tr><tr><td>褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去</td></tr><tr><td>創傷に対する陰圧閉鎖療法</td></tr><tr><td>栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連</td></tr><tr><td>持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整</td></tr><tr><td>脱水症状に対する輸液による補正</td></tr><tr><td>血糖コントロールに係る薬剤投与関連</td></tr><tr><td>インスリンの投与量の調整</td></tr></table>	気管カニューレの交換	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	脱水症状に対する輸液による補正	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調節	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューレの交換	栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理) 関連	中心静脈カテーテルの抜去	栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理) 関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテル(PICC)の挿入	創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	創傷に対する陰圧閉鎖療法	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	脱水症状に対する輸液による補正	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整
気管カニューレの交換																					
胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換																					
褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去																					
脱水症状に対する輸液による補正																					
呼吸器(気道確保に係るもの)関連																					
経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調節																					
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連																					
気管カニューレの交換																					
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理) 関連																					
中心静脈カテーテルの抜去																					
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理) 関連																					
末梢留置型中心静脈注射用カテーテル(PICC)の挿入																					
創傷管理関連																					
褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去																					
創傷に対する陰圧閉鎖療法																					
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連																					
持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整																					
脱水症状に対する輸液による補正																					
血糖コントロールに係る薬剤投与関連																					
インスリンの投与量の調整																					
募集人数	【パッケージ研修】 在宅・慢性期領域パッケージ 2名																				

	【区分】 呼吸器(気道確保に係るもの)関連 5名 呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連 5名 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連 5名 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連 5名 創傷管理関連 3名 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 7名
受講要件	・日本国内における看護師免許を有していること ・経験年数5年以上の看護師（県内外・医療施設等の制限はありません） ・所属施設の施設長ならびに看護部門長からの推薦状を添付できること※ ・受講開始後に、実習協力を得る関連医療機関の代表者から、実習受入に係る承諾を得ていること ・本学が定める1年6か月の研修課程を、連続して受講できること ・区分「栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連」については、受講修了後に自施設において継続して実務経験を積めること ・区分「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」については、以下いずれかの認定を受けていること ➤ 日本看護協会「糖尿病看護認定看護師」 ➤ 日本糖尿病療養指導士認定機構「日本糖尿病療養指導士」 ➤ 日本糖尿病教育・看護学会「糖尿病重症化予防(フットケア)研修」修了者
出願期間	令和7年12月10日（水）～ 24日（水）締切日必着
選考方法	書類審査、面接審査【日程】令和8年1月14日（水）午後
出願提出書類	以下の様式1～5と添付書類を、当センターのHPよりダウンロードし、作成してください。郵送で提出する場合は「簡易書留」で郵送してください。持参による提出も可能です。 様式1 受講申請書 様式2 履歴書（A31枚に印刷して提出） 様式3 志望理由書 様式4 受講推薦書（2名分が必要です※） 様式5 放送大学受講に関する確認書（編入の場合は不要です） 添付 看護師免許の写し、専門・認定看護師認定証の写し（該当者のみ）、合否結果通知用封筒（返信用切手460円分を貼付） 提出書類チェックリスト

※病院で勤務されている方は、施設長ならびに看護部門長の2名分、訪問看護ステーションなど病院に付属していない施設に勤務されている方は、訪問看護の管理者1名と実習受入についてご理解いただいているクリニック等の医師1名の計2名分を提出してください